



# 37年間使い続ける重機が物語る 雪国の特性を生かした搬出法

緑の担い手を目指そう! にいがた山しごと情報誌  
Niigata Forestry Magazine

林業事業体レポート File 03

なかそう  
有限会社 中惣林業  
【阿賀町】



①搬出についての打ち合わせをする森林技術員。この日は5人での作業となった  
②阿賀町綱木地区の個人所有の森林。手前は田んぼなので通常では道がなく入れないが、雪に覆われた冬期間であれば搬出道や集積場所として利用できる

倒した木をブルドーザーのウインチで集材する林業歴3年の大久保さん。雪上での運搬は材を傷めないメリットもある

③37年前に購入し、今も現役のブルドーザー。雪の多い地域のさまざまな現場で木のけん引や運搬用に活躍してきた  
④作業中にブルドーザーの履帯が外れてしまい全員で修理にあたる。30分間の悪戦苦闘の末、復活し、また動き始めた。古い重機を労わりながら大事に使っている  
⑤雪上運搬により、スギの樹皮が雪に移り赤茶けた跡が残る  
⑥購入当時のブルドーザー。車体にはまだはっきりと「中惣林業」の文字が入っている



訪れた現場は2月下旬の阿賀町(旧三川村)綱木地区。およそ110年生のスギの「寒伐り」が行われていた。あえて冬場に伐採、搬出するのにはいくつかのメリットがあるから。材内の水分が少ない良質な材が出せること。普段は田や畑などで通行できない場所でも、積雪という条件を生かして重機が通れること。森林の中でも雪の上を滑らせて搬出するため木口や樹皮が土や泥で汚れないこと、などである。もちろん冬場の厳しい自然条件での作業になるし、伐採前には2m以上の雪を掘り起こさなければならぬなど、苦労もある。しかし、これらすべてが雪国の林業の特性なのだ。「中惣林業」でも主伐・搬出は、冬場の仕事として位置づけられている。同社の他の業務としては、会社設立当初から継続している聖籠町方面の海岸保安林整備がある。松くい虫により被害を受けたマツを伐倒し、くん蒸処理する作業だ。また阿賀町内の間伐・除伐などの森林整備、平成24年度からは町内の新設・レット工場への材料搬入なども始まり、業務量の増加が見込まれている。

Hidano Kazuo



飛田野 和男 さん

年齢:64歳

林業経験:30年

何人かで伐採をやる時は特に注意しないとイケませんね。どこに誰がいるかっていうのを気にしながらやらないと。相手もプロならいいけど素人だとどこにいるかわからない時がある。林業は基本を身につけて教科書通りに仕事するのが一番。あとは現場に出てからの応用だから。



# 緑の担い手

大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち

基本を覚えて現場で応用を

従業員は1名のみ期間雇用だが他8名はすべて通年雇用。年間を通じて仕事が途切れないことの証しだ。森林技術員は20代から60代まで各年齢層に分かれたバランスのよい構成だ。それぞれが経験や若さなどの持ち味を生かし現場で発揮している。



Okubo Shouji



大久保 昭二 さん

年齢:44歳

林業経験:3年

40歳過ぎて林業を始めるようになりました。念願の薪ストーブ付きログハウスを中古で買って、それで仕事も林業関係を探していたら中惣林業にお世話になることになりました。山の仕事は重機の操作も伐採もなんでもやります。役所に行ったり事務の仕事もやっています。



ログハウス購入を機に林業へ

【事業体Data】



有限会社 中惣林業

住所/東蒲原郡阿賀町綱木2029 電話/0254-99-3446  
 設立/平成2年 資本金/500万円 従業員数/9人  
 勤務時間/8:00~17:00 主な勤務地/阿賀町・聖籠町・新発田市  
 主な従事業務内容/各種森林整備、海岸松林伐倒処理、公園維持管理業務等

【事業主コメント】



現在、森林技術員は9名おります。季節に応じた業務をこなしていますので、年間を通して作業現場があります。さらに平成24年度からは、阿賀町のバイオマスタウン構想事業にも参加させていただくことになりました。ペレット工場へ年間を通して大量のペレット用材を搬入する仕事です。新しい業務となりますので、会社一丸となってチャレンジしていこうと思います。従業員が高齢化してきたこともあり、数年前に緑の雇用を利用して若い社員を迎え入れました。今後も若い人材を確保していきたいと思っております。

有限会社 中惣林業 代表取締役 飛田野文治



冬の森に乾いた音を立てて倒れこむ「寒伐り」の醍醐味

①樹齢110年~120年の大径木を伐採するのは、林業歴30年の飛田野和男さん。受け口を入れた後にチェーンソーを当て伐倒方向を確かめている ②伐採前に約2mの雪を掘り起こす。根元が見えてくるまでひたすら40分間掘り続けた ③直径約80cm、樹高30m前後。どう採材するのがもっとも有効か、入念に木の状態を調べる ④枝を払い、4mや6mに玉切りし集材される

